

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	特別活動の指導法 (中・高)		
担当者(Instructors)	竹田 安宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「特別活動の目標、役割・意義及び内容とその指導法」を授業のテーマとする。特別活動の「重要な三つの視点」や「チームとしての学校の視点」を持ち、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の必要な知識や素養を身に付ける。学校の教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方も理解することを到達目標とする。特別活動(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事)の特質、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3視点から意義を概説する。各教科との関連、学年の違いを含めた教育課程全体での取り組み、特別活動の指導の在り方、評価・改善活動、地域との連携についてグループワークや発表の機会を取り入れながら理解を深める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義及びグループワーク

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要：授業計画、授業方針、テスト・参考書等	授業計画、授業方針、テスト・参考書等、本授業の概要を確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	特別活動の目標と主な内容	特別活動の目標と主な内容を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連	教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	学校行事：儀式的行事の変遷(戦前と戦後の比較)	儀式的行事の変遷(戦前と戦後の比較)等、学校行事について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	旅行的・集団宿泊的行事：修学旅行と遠足	修学旅行と校外学習等、旅行的・集団宿泊的行事について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	健康安全・体育的行事：部活動・体育祭(運動会)	部活動・体育祭(運動会)等、健康安全・体育的行事について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	学芸的行事や社会奉仕的行事：文化祭やボランティア活動	文化祭やボランティア活動等、学芸的行事や社会奉仕的行事について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	学級の成立と学級活動	学級の成立と学級活動について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	子どもの権利条約と自治：生徒会活動における話し合い活動と意思決定	生徒会活動における話し合い活動と意思決定を題材に、子どもの権利条約と自治について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	学級活動・ホームルーム活動の指導案作成と評価法：学級づくり	学級活動・ホームルーム活動の指導案作成と評価法といった学級づくりに必要な知識を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	学校行事の指導案作成：修学旅行	修学旅行を例に、学校行事の指導案作成を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	特別活動・課外活動における事故と対応	特別活動・課外活動における事故の事例と対応法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	特別活動における地域・社会とのかかわり	特別活動における地域・社会とのかかわりを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	学校生活における特別活動が果たす役割	学校生活における特別活動が果たす役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	本授業のまとめ	本授業のまとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に自分でインターネット等で教科書の予習をし(2時間程度)、授業後に教科書・参考図書及び授業中に配布した資料を用いて課題レ

ポートを作成する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の講義の「事前学習レポート」と「振り返りレポート」の評価から学生の質問や意見を受講生全体で共有し、必要に応じて個別に対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	学級活動や学校行事における目的や意義を説明し、状況に応じた対応策を述べることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%		0%	50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内確認テスト（50%）、模擬授業の発表内容（20%）、授業内小レポート（30%）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	「中学校学習指導要領 特別活動」（平成29年3月 文部科学省）	978-4-8278-1562-7
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	「高等学校学習指導要領 特別活動」（平成30年3月 文部科学省）	
2		
3		
4		
5		